

『人・もの・地域』と出会いふれあい高め合おう！

(草津第二小学校)

1 【活動の趣旨】

校区にあるいろいろなお店で仕事を体験したり、地域の方のお話を聞いたりすることにより、自分の住む町や人について知る。また、地域との関わりを通して自分の町に愛着をもち、更に進んで関わろうとする気持ちを育てる。

2 【特徴的な活動内容】

○「お店体験」

本校の校区は駅前に広がっており、多くのマンションが建ち並んでいるが、駅前には昔からの商店街も残っており新しい店と共存している。3年生は、総合的な学習で「お店体験」に取り組み、地域の様々なお店を見学したり仕事を実際に体験したりすることによって働く人々の姿に触れ、商品を守るための工夫や仕事に対する思いを知ることができた。接客や裏方の仕事を経験してその大変さを学ぶと共に、地域の人と交流することで、コミュニケーション力の向上を図ることができた。



【カフェでお店体験】

○「平和学習」

本校の6年生の子どもたちは、学区に居住されている104歳の戦争体験者の方から毎年お話を聞き、平和について考える学習をしている。今年度も、戦地での実体験やそのときの恐ろしさや悲しさ、ご自身の平和への思いを聞かせていただき、改めて平和の大切さやありがたさを感じ、平和な世界のために自分にできることを考えて「平和宣言」にまとめることができた。



【平和学習】

3 【実施に当たっての工夫】

コロナ禍にはできなかった「お店体験」を今年度実施するにあたり、直接お店の方をお願いして打ち合わせをしたり、保護者の方にもボランティアをお願いしたりして、安全に学習ができるように準備を行った。

戦争体験者の方とも事前の打ち合わせで思いを聞かせてもらうことで、教員自身も平和への思いをもって当日の指導にあたることができた。

4 【事業の成果】

自分たちの学びと地域の様々な人・もの・ことがらとの関わりを通して地域に親しみをもつことができた。「お店体験」では今まであまり意識していなかった地域のお店や働く人について知り、働くことの楽しさや厳しさを感じることができた。「平和学習」では地域の方の実際の体験を真剣に聞くことで心を動かされ「平和の大切さ」を頭で考えるだけでなく、心で感じる姿が見られた。

5 【事業実施上の課題・今後の連携・協働活動実施に向けて】

コーディネーターから地域各所の担当者へ連絡を取り、学習への協力を依頼した上で、後日改めて担当学年から連絡を取った。コーディネーターと役割分担をすることで、スムーズに連絡調整を進めることができた。今後さらに活動を充実させるために、依頼先を増やすことを検討していく必要がある。